

平成28年度第1回千葉県歯・口腔保健審議会

開催結果

1. 日時 平成29年2月27日（月）午後3時00分から4時20分まで
2. 場所 ホテルプラザ菜の花 3階 「菜の花」
3. 出席者
委員：総数15名中12名出席
丹沢会長、斎藤副会長 岡部委員、石野委員、星野部会員、高橋部会員、渋谷委員、細田委員、柳委員、石橋委員、安藤委員、杉原部会員
4. 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) あいさつ
 - (3) 議事
 - ア 会長・副会長の選出について
 - イ 歯科保健事業専門部会委員の指名について
 - ウ 県の歯科保健関連事業について
 - エ 第二次千葉県歯・口腔保健計画について
 - (4) その他
 - (5) 閉会
5. 議事概要
 - (1) 会長・副会長の選出について
 - 審議会運営要綱第2条第1項により、委員の互選で会長に丹沢委員、副会長に斎藤委員を選出
 - (2) 歯科保健事業専門部会委員の指名について
 - 審議会運営要綱第4条第3項により、会長が指名した7名を専門部会委員に任命
 - (3) 県の歯科保健関連事業について
 - 専門部会会長報告事項
平成28年11月14日に開催された「千葉県歯口腔保健事業専門部会」の結果、県の事業について承認した旨を報告

○ 事務局説明

資料1から資料3により事務局から説明

○ 主な意見及び質疑応答

(意見)

歯科衛生士の復職支援事業については、平成27年度に47名研修会に参加して17名復職したことは、全国的に見ても数は少ないが、率としては非常に良かったと思う。予算が有効に使われたのではないか。

また、講習会を受けたが、自信がないため、少し勤めて試してみたい人がいれば、数名なら千葉大学で研修として短期に受け入れができる。、病院でアンケートをとるなどして、地域も含めてみんなで推進していけたら予算を使わずに良い結果が得られるのではないか。

巡回歯科診療車については、災害時にも実績が出ている、1台車両を購入できたことはよかった。

(4) 第二次千葉県歯・口腔保健計画について

○ 事務局説明

平成29年度のスケジュール及びアンケート調査の実施について資料4・資料5により事務局から説明し、事務局(案)について承認された。

○ 専門部会会長報告

平成28年11月14日に開催された「千葉県歯口腔保健事業専門部会」の結果、調査項目については審議会において再度検討することとなった旨を報告。

○ 事務局説明

平成29年度千葉県歯科保健実態調査の項目(案)について、資料6により事務局から説明、委員からの意見については、引き続き来年度検討していくとしたうえで、事務局(案)について承認された。

○ 主な意見及び質疑応答

(質問)

最近ペースト状の歯みがきだけでなく、いろいろなタイプのものが出ており、アンケートに回答する場合にどう書いていいかわからない場合が出てくるのではないか。

そのときはどう対処したらよいか。例えば製品名を書いてもらい、こちらで判断するなどといったことは考えられないか。

(回答)

歯磨き粉と書かずに歯磨き剤と書いてあるのは、そういうことを考慮したためである。フッ素が入っているかいないか、フッ化物を認識しているかどうかということ。

(意見)

種類が多くなり、フッ素入りのものを使った後にブラッシングをする場合はこれに該当しないのではないか等、回答者が誤解をすることを懸念したが何を使っても問題ないのであればよい。

(意見)

1歳6か月児、3歳児の調査項目のうち授乳・間食の習慣の質問として「お子さまの食器（スプーンやお箸）はお子さま専用のものでしょうか」という表記はどうか。

1歳6か月児にもこのアンケートを使うならお箸は現実的ではないので、表記にもう少し工夫があってもよいのではないか。

(質問)

文章としてはスプーンやお箸とどちらでもよいとなっているので、日本語としては成り立つが、回答者がどう受け取るかだ。

実際のアンケート用紙では食器の絵は描いてあるのか。

(回答)

絵は書いていない。

(意見)

絵が書けるのであれば、「授乳・間食の習慣」のところにお母さんが食べさせている絵を描けば、絵でわかると思うが。

(質問)

もう少し具体的に食器の種類を示すことでよいか。

(回答)

内容を検討したい。

(意見)

お母さんにわかりやすくなるようお願いしたい。

(質問)

回答者は、日本人のお父さんお母さんを想定しているのか。
また回答は、夏休みの前に回収するのか。

(意見)

最近は外国人が多くなってきているので、その対応も検討する必要があるのではないかと。

(回答)

外国人に対してどう対応するのか検討したい。また、回収は夏休み前である。

(意見)

小学校1年生は保護者に配布して後日回収する方法だと思うが、小学校4年、中学校1年生はその場で本人が回答するのに、自分が使っている歯磨き剤がフッ素入りかどうかわからないのではないかと。

(回答)

選択肢の中に「わからない」という回答がある。普段フッ素入りかどうか認識せずに使っていることが多いと思っており、「わからない」という回答も多いのではないかと。

即答できず、わからないという回答であっても、フッ素について認識していないということがわかるのではないかと考えている。わかる範囲での回答でよい。

(質問)

それではその場で回答してもらって回収となるのか。

(回答)

こちらではそう考えているが、学校にお願いしているので、方法は学校に任せている。

(質問)

学校によって、対応に差が出てくると思うが構わないということか。

(回答)

学校の対応に任せたい。

(意見)

歯磨剤のほとんどにフッ素が入っているので、そのことの認識についての問だと思う。

従来の「歯磨き剤を使っていますか」という質問に対し「わからない」という回答項目はなかったと思うが「無回答」はあったと思う。

この方法で調査し、回答にばらつきが出るようであれば再検討しなければいけない。質問内容について問題が提起されたということを記録に残していただきたい。

(質問)

特別支援学校の生徒はアンケートの対象となっているのか。

(回答)

対象となっていない。

(意見)

一緒にしてしまうと、アンケート実施に支障があるかもしれないが、特別支援学校も対象に考えてほしい。

特に、高校1年生は振り仮名があれば本人も回答できる。できない場合は保護者が回答できる。

気を付けなくてはいけないことを保護者が気づいてもらえる良い設問だと思う。

高校生になると親も油断してしまい、子どもの歯に注意をすることがなくなる。

小・中・高と一緒にアンケートを行うということではないが、考えていただきたいと思う。

(意見)

児童・生徒歯科保健実態調査のため、特別支援学校を調査対象としても当然だと思う。ただ、今までアンケートを実施していないので、今回、試しに1校に対し実施してみるとということも考えられると思うがどうか。

(回答)

国の計画では高齢者施設、障害者施設に関する項目があるが、県の計画は国に先行して作成したため項目に入っていない。

次期計画の策定にあたり、今後検討していかなければいけない項目だと認識している。

ただし、今回のアンケート調査については、継続調査ということもあり、特別支援学校、高齢者施設、障害者施設についての調査は来年度検討させていただきたい。

(意見)

ぜひ検討をお願いしたいと思う。

事業の中に幼稚園や障害者施設へのフッ化物洗口普及事業というのがある。アンケート結果は事業への評価にもかかわってくると思う。

(回答)

専門部会で検討し審議会にご報告して議論していきたい。

(意見)

アンケートの項目で性別については、必要なければ項目から外すよう検討していただきたい。

(回答)

生理が始まると口の粘膜は性ホルモンの影響を受けることもある。

また、今までの統計の比較や他の都道府県の状況などもある。生物学的に歯肉の問題や統計の問題から検討させていただきたい。

(5) その他

【災害時の歯科保健医療体制について】

(意見)

配付している「広域災害時における歯科医療提供体制」については、今年の秋くらいに日本学術会議が政府への提言として出す予定。この中で、ピックアップされる政策も出てくる。現在は日本歯科医師会と厚生労働省に内容の不足や不適切なものがないか等チェックをお願いしている。

千葉県の地震災害は、九十九里にかけて海岸があるため、東日本大震災のような災害のパターンや、都市部は阪神淡路大震災、内陸部では熊本地震のような3種類の地震が起きる可能性がある。

参考資料として、歯科医療支援活動報告を記載しているが、千葉県は非常に充実している。これからの取組を有効なものにするために本書の内容を検討し参考にしていただけたらよい。

また、熊本地震では薬剤師会がエコノミークラス症候群の予防のために体操指導をしている。薬剤師会で服薬指導をしたところ、普段から飲んでいいる薬をなくしてしまった人、次にいつもらえるかわからないので規定量より少なく飲んでいいる人、やる気をなくしてこもってしまっている人などの状況から、服薬指導の時に体操指導をしているとのこと、このように多職種がかかわることも大事。

歯科についても災害のパターンにもよるが、直接被災よりも誤嚥性肺炎や関連死が多いといわれるパターンの時もあるので、そのあたりへの対応も大事になる。

各職種の活動を調整するコーディネーターが必要だが、歯科分野、医科の分野など、行政で縦割りに見た時に、それぞれのコーディネーターがお互いに普段から連携することが必要であることが分かってきた。

いつ起こるかわからない、百年に1回、数十年に1回の災害のために予算を使い続けるのは大変なので、日常の業務をされている方がコーディネーターの講習会を受けて、お互いに顔見知りになって、連携していれば、予算的にも実現可能ではないかと思う。この資料をまとめてみて、千葉県はかなり及第点だと思うので、皆さんの力を借りて今後も進めていきたい。

歯科医師会に入っていないなくても、自主的に救援活動をしてくれる方はいるが、組織化していないので、効率的に活動できない、また、ガソリン等がなくなったら終わりで個人的な意味精神的な満足で終わってしまう。医師会や歯科医師会など、業種別の組織は大事だとこの提言をまとめてみて改めて感じた。再組織化、地域ごとに組織化することが大切。

(意見)

千葉県は、地震がいつ起きてもおかしくない状況、県では、房総半島東方沖地震で、津波で最大5,600人、県北西部で発生する直下型地震では最大2,100人の死者が出るという予測をしている。避難者は最大80万人と言われている。また、千葉市では30年以内に震度6以上の地震が起きる確率が85%で全国1位というデータも発表されている。

歯科医師会も災害救急委員会があり年1回模擬の防災訓練を実施しているが、机上の訓練で行われている現状で、行政との連携が取れていないのが心配である。

千葉県の医療救護計画を見ると、災害医療コーディネーターと関係職種と連携をとるということで、関係職種の中に歯科医師が入っている。

災害歯科コーディネーターも歯科関連の中で災害に重要であると言われているので、災害医療コーディネーターと同じように災害歯科コーディネーターを計画の中に入れてほしい。

熊本地震の時も日本歯科医師会の災害歯科コーディネーターと、九州地区の幹事県の福岡県の災害歯科コーディネーターが派遣され、熊本県の災害歯科コーディネーターとうまく連携できた、また、JMATには歯科医師はいないが、熊本の時は、JMATに歯科医師を帯同したと聞いている。

ただし、南阿蘇地区には災害歯科コーディネーターがいて連携できたため、南阿蘇村は問題なかったが、益城町にはだれもいなかったので連携が取れていなかったと聞いた。

やはり、県に災害歯科コーディネーターを配置し、県歯科医師会においても災害歯科コーディネーターを育成していく。

また、県の災害歯科コーディネーターが県の災害医療コーディネーターと連携していくと、機材や支援物資の配送なども無駄なく行われる。

今千葉県で地震が起きたら、そこが一番心配。熊本では、他県から歯科医師も駆けつけたが、どこに派遣したらいいかわからず、そのまま帰ってもらうこともあった。

また、支援物資も余っているという話もある。何が必要で何が足りないのか歯科医療コーディネーターの役割は大変重要なので行政と連携がうまく取れれば、正確な情報も伝わりやすくなる。

歯科診療所も被災する、機能している診療所とそうでない診療所も出てくる。

また、避難所における被災者の口腔管理をする場合に何が足りないのか情報のまとめ役が必要。そのためにもぜひ災害歯科コーディネーターを災害医療コーディネーターと同じように位置づけていただくことが非常に重要である。

災害歯科コーディネーターには、身元確認の業務もある。警察歯科医会が対応しているのでそちらは対応できている、。

救急体制や避難所、仮施設での歯科活動を考えなければならない。災害歯科コーディネーターの育成とともに配置をする、行政と顔の見える関係を作っていくことが大切だと思う。

(回答)

災害時の連携体制については、今後引き続きご意見をいただきたい。

県民への普及啓発として、県のホームページに災害時の歯科口腔衛生の確保の重要性や防災部局で作成している「災害時における避難所運営の手引き」に歯科保健に関する内容を掲載する方向で検討し、内容については来年度ご報告したい。

(意見)

日本学術会議の提言はあくまでも全国を想定し政府に提言しているので、参考にさせていただければと思う。

(意見)

避難所に避難された方が、仕事を失い、横になったまま一日過ごすとうるまひが落ちてしまい、仮設住宅に移ったときに要介護状態になり、意外に早くお亡くなりになると聞いてい

る。

歯をみがくこと自体が、誤嚥性肺炎を予防するだけでなく、体をきちんと起こす、洗面所へ移動して体を動かす等いい影響があると聞いたことがある。

県民に啓発する際には、歯みがきをしましょうだけでなく、口の体操や健康体操のことも一緒に啓発していただきたい。

(意見)

啓発物を避難所で配っても案外読まない。それよりは、避難所にポスターのような形で、避難所での心得などを掲示するほうが予算もかからず役に立つのではないか。

例えば、トイレ等水不足で不衛生になるので、避難所での作法や心得などを入口に掲示するとわかりやすいのではないかと思う。